

平成30年度 学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年11月実施分]

※自己診断アンケートは、生徒は11月22日に実施。教員と保護者については1月22日までに実施。

※ここに示す%は肯定率を表す。

【学習指導】

・生徒は授業について83%（1年89%、2年89%、3年70%）が「難しい」と評価し昨年の85%よりやや改善され、「授業の教え方を工夫している教員が多い」という評価は88%（1年71%、2年95%、3年97%）で昨年の87%をやり上回った。今後も授業改善への取組みが必要である。

・保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、63.1%で昨年と同じであった。これについては、さらに教え方の工夫と進度・内容の検討が必要である。

・本校のキャリアガイダンスについては生徒の87%（昨年82%）、保護者の86%（昨年87%）、教員の88%（昨年81%）が適切であると評価している。総合学科としての全体への取組みや生徒への働きかけをさらに強化したい。

・選択科目について、3年生徒の72%（昨年73%）、保護者の87%（昨年87%）、教員の82%（昨年79%）が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。

【生徒指導】

・学校生活に対する意識については生徒の72%（昨年73%）が「行くのが楽しい」と自己評価し、また保護者の83%（昨年83%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらも横ばいであった。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。

・保護者は本校の生徒指導に80%（昨年80%）が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」の問いでは、88%（昨年92%）と非常に高い自己評価を得ている。実際、真面目な生徒が多く、この状態を次年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の84%（昨年83%）、保護者の84%（昨年83%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばいである。「いじめへの対応」については、生徒の80%（昨年83%）、保護者の81%（昨年81%）が肯定的にとらえている。いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。

【学校運営】

・3年生は88%（昨年81%）が総合学科を選んでよかったと評価し、75%（昨年76%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、72%（昨年69%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、前者は昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。

・文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は88%（昨年88%）が活発であると評価し、生徒は文化祭に84%（昨年82%）、体育祭に81%（昨年79%）が満足していると答えており、例年とほぼ横ばいであった。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていきたい。（（参考）生徒会アンケートの文化祭翌日分は92%（昨年92%）、体育祭翌日分は93%（昨年93%））

・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は45%（昨年45%）と、毎年低い数値になっている。これは担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えら

れる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐する体制に改善したが、来室生徒数は少なかった。

・教員の「PTA活動へ参加している」が57%（昨年47%）であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。

・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については49%（昨年51%）であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。

・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については54%（昨年44%）であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度は秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。

【情報提供】

・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は、1年82%（昨年78%）、2年85%（昨年90%）、3年85%（昨年83%）、全体84%（昨年84%）の肯定率である。ただし保護者は77%（昨年78%）の肯定率で若干の差が見られ、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。

【環境】

・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒 55%（昨年 53%）、保護者 67%（昨年 67%）、教員 66%（昨年 60%）であった。自由記述では、緊急連絡の充実、科目選択などの意見が出た。